

〔問1〕

次の(1)から(20)の問いに答えよ。

著作権保護のため、非公表(択一式 20問)
次ページ以降に例題を掲載しています。

〔問2〕

次の文章を読んで、問いに答えよ。

近年、全国各地で台風や豪雨などによる自然災害が多く発生し、今後も、気候変動による自然災害の頻発化・激甚化が懸念されています。

また、将来、南海トラフ地震や活断層による地震などが発生する可能性があり、大きな被害も想定されています。

このような自然災害に対して、府民の安全・安心を守るための対策が求められますが、大阪府の技術職員としてあなたが考える道路、河川、下水、公園などの都市基盤施設における具体的な対策について、ハード面・ソフト面の両面から理由も含めて述べなさい。

以下の問題は例題です。（令和3年度大阪府職員採用試験で実際に出題された問題とは限りません。）

例題1 樹木の移植に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 「溝掘り式」は簡易根回しともいい、根茎が発達していない小木や苗木を対象に行う。
2. 落葉樹の移植は、樹木の生長が活発な春から梅雨頃の時期に行うのが適している。
3. 掘取りの前は、樹勢を弱めないよう、枝葉の剪定は行わない方がよい。
4. 根巻きは、まず鉢の周囲を横に巻く「樽巻き」を行い、次いで縦・横に縄をかける「揚げ巻き」を行う。
5. 植え穴の穴底は、植え付け後の根鉢を安定させるため、中央を低くする。

【正答：4】

例題2 公園の都市計画決定に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 面積の大小にかかわらず，総合性，一体性の観点から都市計画の決定はすべて都道府県が行う。
2. 都市計画を決定しようとするときは，あらかじめ収用委員会の裁決を得なければならない。
3. 都市計画を決定しようとするときは，都市計画の案をあらかじめ公衆の縦覧に供しなければならない。
4. 都市計画を決定することができるのは市街化区域内又は用途地域内であり，市街化調整区域において決定することはできない。
5. 都市計画決定された公園の区域は，人口等の推移を勘案し5年ごとに見直さなければならない。

【正答：3】